

# 【開催報告】

2025年12月5日 於：関西外国語大学



今まで授業で習ってきたことをさらに細かく言って頂いたものが多く、特に日本にとって何が重要かを細かく説明してくださって勉強になりました。カナダが日本に対してかなり友好的なことが新しい発見でした。東南アジアの安全に関して日本が重要な役割をしていることも新しい発見でした。最近のニュースであまり取り上げられないためあまり分からなかったのですが、ロシアによるウクライナ侵略について日本も他国もかなり厳しい目でみているということも分かって興味深かったです。

今回、実際に外交官の方からお話を聞き、ニュースでしか知らなかった「外交」がぐっと身近なものに感じられました。特に印象に残ったのは、ウクライナの状況についてのお話です。テレビでは「戦争」「支援」といった言葉でしか見ていなかった出来事の裏側で、どれだけ多くの国が話し合いを続けているのか、またその調整をするのが外交官の仕事だということを知りました。ウクライナのような遠くの国の出来事も、実は日本の安全や生活とつながっていることを知り、ニュースを見るときの見方が変わりそうだと感じました。将来の進路を考えるうえでも、「日本の外」に目を向けて学ぶことの重要性に気づくことができ、とても貴重な時間でした。

講義を通して、国際情勢を正確に理解し、情勢に応じた柔軟な外交判断がいかに重要かを強く感じました。特にウクライナ侵略や中東情勢への対応では、日本が国際社会でどのように責任を果たすべきかが具体的に示され、外交政策の難しさと奥深さを学ぶ機会になりました。

地域外交や文化交流、経済外交まで幅広く取り組む必要性が分かり、外交の現場がいかに複雑で多層的なのかを実感しました。講義者の豊富な経験に基づく説明が具体的で、外交青書の内容もよりイメージしやすくなりました。

# 【開催報告】

2025年12月5日 於：関西外国語大学

国際情勢認識では、国家の価値観や歴史的背景によって「同じ出来事でも見え方が大きく異なる」点に関心を持ちました。報道や政府発表だけでは片側の視点に偏りやすく、多角的な情報収集が重要だと感じ、また、相互不信が誤解や対立を深める構造にも気づかされました。

人と人の繋がりが外交の本質だというお話が印象に残りました。個人的に仲良くなれたとしても、国としては仲良くできない国が存在すると思うので、国を単位に、世界的に友好的にというのは難しいのだと考えました。外交官の方は、他国で活動するときは、相手国の人ときちんと話してくれるように営業のようにコミュニケーション力も試されるのは、重要な役割で、とてもやりがいがあると感じました。

今回の講義を通して、これまで難しく捉えてきた外交が、実は人と人の結びつきで成り立っているという話を聞いて、国同士のやり取りではあるけれど、結局は人間同士の信頼や対話があるという視点を知り、一気に身近なものに感じました。また、最先端で情勢を読み取り、国益のために働く外交官の方たちが持つ、グローバル・ガバナンスに向けた価値観や、正しい物事の見方と取り組み方についてのお話がとても興味深かったです。

